

東京都立若葉総合高等学校 令和5年度 教科:「地歴」科目:「日本史A」 年間授業計画

教科:地歴 科目:日本史A 単位数:2単位

対象学年組:(第3学年組~組)

教科担当者:(松本:B,D,F組)(齋藤:A,C,E組)

使用教科書:(日本史A 現代からの歴史)

使用教材:()

	指導内容	科目「日本史A」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	私たちと歴史の結びつき 19世紀の世界の動向と日本 鎖国体制の動揺と海外情報 開国前夜の社会 天保の改革	過去と現代との関連など歴史を学ぶ意義について理解させる。 江戸時代の間、産業革命や市民革命に伴う国民国家の成立など、世界の動きがどうであったか理解させる。 江戸幕府の鎖国体制が揺らぎ、どのようなことが起こったのか理解させる。 鎖国体制下で海外文明がどのような影響を与えたか、理解させる。 江戸幕府の財政が悪化し、幕府に対する不信感が増していくようすを理解させる	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	6
5月	ペリー来航と開国 幕末抗争の激化 倒幕運動 大政奉還と戊辰戦争 明治新政府の成立	鎖国体制の崩壊とその影響について理解させる 外圧をきっかけとした、幕府内部の対立と権力構造の変化について理解させる 尊王攘夷運動と公武合体運動から倒幕運動へ発展する過程を理解させる 倒幕派が江戸幕府から政権を奪取し、新政権を発足する課程を理解させる 近代的な政権の成立を目指した新政府の動きを理解させる	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	3
6月	近代化へ向けての諸改革 文明開化と啓蒙思想 明治初期の外交 自由民権運動の展開 明治憲法の成立と帝国議会の開設	外圧に対抗できる国家を形成するために、とられた廃藩置県など中央集権体制の確立や、徴兵制・地租改正について理解させる 西洋文明の導入による影響について理解させる 国境の確定とそれに伴うアジア政策の変化について理解させる 国民が参政権を求めた初めての運動について、その経過と意義を理解させる 自由民権運動の成果として成立した憲法とその実態について理解させる	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	7
7月	日清戦争と対アジア外交の変化 産業革命による社会の変化 日露戦争と国際情勢の変化 朝鮮半島支配と日本の帝国主義化	初の国際戦争である日清戦争の目的と結果について理解させる 日本の工業化の経過と国民の社会生活に与えた影響を理解させる 日露戦争の実態と日本を取り巻く国際環境の変化について理解させる 日本が朝鮮半島を植民地化する過程とその影響について理解する	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	4
8月				0
9月	桂園時代と社会運動の活発化 第一次世界大戦と国際環境の変化 大戦景気と社会運動 政党運動の発展と大正デモクラシー 関東大震災と経済不況の始まり	産業構造の変化に伴う社会の変化に対し、政治が対応した様子を理解させる 第1次大戦の戦勝国の側につき変化した国際的な立場の内容と影響を理解させる 資本主義化した社会の中で景気変動の影響を受ける国民生活とその課題について理解させる 社会問題への関心が高まり、国民の政治活動が活発化していくようすを理解させる 国際的な地位が上がっていく一方で、アメリカと日本との関係が徐々に悪化していくようすを理解させる。 第1次大戦後の経済不況に関東大震災が追い打ちをかけ、日本経済が悪化していくとともに、震災の被害・在日朝鮮人の虐殺事件についても理解させる	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	4
10月	社会不安と昭和恐慌 軍部の台頭と軍国主義の広まり 満州事変と日中十五年戦争の始まり 日中全面戦争の開始と戦時体制の強化 アジア太平洋戦争の開始と日本のアジア侵略 戦況の悪化と国民生活の破綻	経済不況が金融恐慌という形で表面化し、昭和恐慌により国民生活が圧迫されていくようすを理解させる。経済恐慌に伴う政治不信の中、軍部が政治に介入していき、5・15事件や2・26事件などのテロにより加速されていくようすを理解する 経済不況に対する打開策を満州の侵略に求めた軍部の動向と、外交策の変化を理解させる 日中戦争が長期化する理由と、国民生活が戦争によりどう変化していくか理解させる 日中戦争の行き詰まりが英米との対立に拡大し、交渉が暗礁に乗り上げていくようすを理解させる 米軍を中心とした連合国軍の反転攻勢により、日増しに戦況が悪化し、多くの犠牲が払われ国民生活が破綻していくようすを理解する。	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	7
11月	敗戦と占領 戦後改革 日本国憲法の制定 経済再建と国民生活の再建 米ソ東西冷戦と朝鮮戦争の影響	敗戦後の占領政策がどのように始まったかを、国内と国外の情勢を関連づけて理解させる 戦後改革のそれぞれの政策の意図を考えながら理解させる 憲法の制作過程とその内容について理解させる 戦後の経済再建がどのように行われたかを、GHQや日本政府の意図を考えながら理解し、社会の混乱から国民生活がどのように再建されていったか理解させる 東西冷戦の活発化により、GHQの対日占領政策が変化していくようすを理解させる	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	9
12月	日本の国際社会への復帰と55年体制 日米安保問題と多極化する世界 高度経済成長と社会構造の変化 経済成長のひずみと大衆文化 冷戦後の世界と日本	55年体制が形成された背景について、その前後の国内情勢と関連づけながら理解させる 日本の新安保条約の調印と、その前後の世界情勢について、それぞれの因果関係と影響を理解する 高度成長による国民生活の変化について、その前後の政策と関連づけながら理解させる。 経済成長による、公害問題や環境問題など負の部分が発生したことを理解する 日中国交回復など冷戦体制の変化に伴う日本外交の変容について理解させる	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	1
1月	55年体制の崩壊と経済成長の終焉 混迷する日本経済と社会	オイルショック以降成長時代に入り、経済大国にかげりが見えていく中で、政治体制も変化していくようすを理解する 80年代のバブル崩壊以降、長期不況に突入する中で、政治も混迷し、国民の価値観も多様化していくようすを理解させる	参加:研究発表、ノート、質疑応答 活動:講義、発表、課題 定着:定期考査	0
2月				0
3月				0